

## 第 38 回 安全設計指針検討会 議事録

1. 日 時 2023 年 3 月 6 日 (月) 9:30～11:40

2. 場 所 WEB 会議 (ホスト：日本電気協会 4 階 A 会議室)

3. 出席者 (敬称略, 順不同)

出席委員：板東主査 (東京電力 HD), 山本副主査 (北海道電力), 伊藤 (日立 GE),  
井上 (中部電力), 猪俣 (東北電力), 大口 (電源開発), 大鋸谷 (関西電力),  
佐野 (九州電力), 田澤 (富士電機), 早坂 (日本原子力発電),  
二神 (JAEA), 二見 (中国電力), 平野 (三菱重工), 森本 (北陸電力)

代理委員：片上 (四国電力・井原委員代理), 及川 (東芝 ESS・佐藤委員代理)

説明者：荒木 (北陸電力), 石谷 (北海道電力), 小野 (電源開発), 高田 (三菱重工),  
長江 (関西電力), 松下, 村上 (東芝 ESS), 森井 (日本原子力発電)

常時参加者：今野 (三菱重工)

事務局：末光 (日本電気協会)

### 4. 配布資料

資料 No.38-1 安全設計指針検討会 委員名簿 (2023-3-6)

資料 No.38-2 第 37 回 安全設計指針検討会 議事録 (案)

資料 No.38-3-1 2022 年度活動実績及び 2023 年度活動計画 (案)

資料 No.38-3-2 2023 年度各分野の規格策定活動(案)

資料 No.38-4-1 原子力発電所保安電源設備及び重大事故等対処設備における電源設備の設計規格 (JEAC4603-2019) に関する意見対応に係る書面審議の結果について

資料 No.38-4-2 原子力発電所保安電源設備及び重大事故等対処設備における電源設備の設計規格 (JEAC4603-2019) に関する意見に対する回答 (案)

資料 No.38-4-参考 原子力発電所保安電源設備及び重大事故等対処設備における電源設備の設計規格 JEAC4603-2019 (抜粋)

資料 No.38-5-1 原子力発電所の有毒ガス防護に関する指針 (案) の第 82 回原子力規格委員会 中間報告見送りについて

資料 No.38-5-2 原子力発電所の有毒ガス防護に関する技術資料

資料 No.38-5-3 NRA コンテンツの利用に関するルール及び本指針での対応方針

資料 No.38-5-4 「原子力発電所の有毒ガス防護に関する技術資料」 (第 49 回安全設計分科会の議案) に関する分科会委員コメントと対応

資料 No.38-5-5 技術資料の扱いについて

資料 No.38-6 原子力規格委員会 運営規約 細則の改定について

資料 No.38-7-1 「JEAC 4111 - 2021 原子力安全のためのマネジメントシステム規格」実務コース講習会の開催について

資料 No.38-7-2 第 13 回 JEAC4111 ワークショップ「JEAC4111-2021 の活用の現状～効果, 課題と解決の方向性～」の開催について

## 5. 議事

### (1) コンプライアンスについて

事務局より、近年の我が国の独占禁止法のより一層の遵守、欧米等の競争法の執行強化の傾向を踏まえ、電気協会においても競争法に関するコンプライアンスの取り組みを進めているため、本検討会においても競争法上問題となる虞のある話題については、話し合わないよう協力のお願があった。

### (2) 定足数の確認、代理出席者の承認について

事務局より、代理出席者2名の紹介があり、主査により承認された。委員総数16名に対して、本日の出席委員は代理を含めて16名であり、委員総数の3分の2以上の出席という会議開催定足数を満たしているとの報告があった。

また、事務局より、本日の説明者8名の紹介があった。

### (3) 委員の交代について

事務局より、資料 No.38-1 に基づき、新委員4名の紹介があった。また、新委員候補1名については、次回安全設計分科会にて承認予定である旨の説明があった。

常時参加者候補1名については、安全設計指針検討会での決議にて承認された。

### (4) 前回議事録の確認

事務局より、資料 No.38-2 に基づき、前回議事録の内容説明があり、コメントなく承認された。

### (5) 2022 年度活動実績及び 2023 年度活動計画について

資料 No.38-3-1～2 に基づき、主査から安全設計指針検討会に係わる 2022 年度活動実績及び 2023 年度活動計画について説明があった。

### (6) 原子力発電所保安電源設備及び重大事故等対処設備における電源設備の設計規定 (JEAC4603-2019) に関する意見対応に係る書面審議の結果について

主査及び事務局より、資料 No.38-4-1 及び参考に基づき、原子力発電所保安電源設備及び重大事故等対処設備における電源設備の設計規程 (JEAC4603-2019) に関する意見対応に係る検討会の書面審議の結果、2022 年 8 月 3 日付で可決された旨の説明があった。また、資料 No.38-4-2 に基づき、本書面審議後の安全設計分科会及び原子力規格委員会での審議を経て決議された本回答内容で意見者に回答した結果、異議申し立てはなかったことについて報告された。

主な質疑は以下の通り。

✓ 意見者への回答内容について、異議申し立てがなかったということはどのように判断するのか。

→運営規約細則の意見及び異議申し立てに対する審議フロー図に沿って対応することとなるが、意見者に回答する際、内容に異議申し立てをする権利のあることを通知し、異議がないことを確認する。異議がある場合は、本フロー図の最初に戻り、異議申し立て手続きを進めることとなる。

## (7) 「原子力発電所の有毒ガス防護に係る技術資料」作成について

主査より、資料 No.38-5-1 に基づき、中央制御室の有毒ガス防護に関する指針（案）について、原子力規格委員会での中間報告を見送った旨、説明があった。

資料 No.38-5-2～5 に基づき、NRA ガイドを基にした原子力発電所の有毒ガス防護に関する技術資料の対応方針や安全設計分科会委員コメントへの対応について説明があった。

技術資料の取り扱いについて調整が必要となる可能性があるが、今後の対応については主査一任とし、委員からのコメント等を反映した資料 No.38-5-2 を技術資料案として分科会に上程することについて、全員の賛成をもって承認された。

主な質疑は以下の通り。

- ✓ ホームページ公表の場合は、無償公開ということか。  
→電気協会では、通常の規格を紙媒体で発刊する場合は有償で販売するとともに、インターネット上で規格を閲覧できるサービスも有償で提供している。今回の技術資料を紙媒体で発刊、販売せずホームページ公開する場合は、無償で公開するものと考えている。
- ✓ 有償／無償の整理はされているのか。  
→原子力規格委員会規約に定められている技術資料を作成し公開することは、電気協会では初めてのケースであり、有償／無償の整理、ルール化までは行われていない。
- ✓ 技術資料の定期的な見直し可否を毎年確認するとなると負荷にならないか。  
→現行の規格でも年度活動計画策定時に改定の必要性を検討した結果、改定作業を実施していない規格もある。資料 No.38-3-1 において、各規格の当該年度の活動実績や次年度の活動計画をまとめているが、技術資料についてもこの整理に加える形で定期的に改定可否を検討することにより、規格と同様に適切な管理ができるものとする。
- ✓ 規格への紐付け及び採番の可否について、前例となるものはないのか。  
→原子力規格委員会規約に定められている技術資料を作成することは電気協会での初めてのケースであり、前例はない。

## (8) その他

- ・資料 No.38-5-2～5 について、コメント依頼を行う（〆切 3 月 27 日）。
- ・事務局より、運営規約 細則の改定について紹介があった。
- ・事務局より、JEAC4111-2021 原子力安全のためのマネジメントシステム規程 実務コース講習会の開催について、受講期間終了 3/31 まで随時受け付けていること、また、5/19 に開催される JEAC4111 ワークショップについても開催案内があった。
- ・検討会の議事録作成は、幹事会以外電力委員および JAEA の委員にて持ち回りを行うこととしている。次回は日本原子力発電委員が議事録作成担当。
- ・次回の検討会については、原子力発電所の有毒ガス防護に関する技術資料の内容、

扱い次第であり、開催する場合には、別途日程調整、開催することとなった。

以 上